

食口の皆様、御聖恩感謝申し上げます。

「天地人真の父母天宙聖と5周年及び天地人真の父母孝情天宙祝福式」が開催され、翌日には天地鮮鶴苑起工式が行われました。また日本においては9月12日より第14次40日路程が始まり、40日以後には真の御父母様御聖誕日までの120日路程が始まります。そして来年聖と6周年までの歩みが私たちの運命を決定するような状況になりますので、一つになって精誠を尽くして参りましょう。

それではなぜ、この期間が重要なのでしょうか？

毎日のようにニュースに出ている北朝鮮の核兵器とミサイル実験が全世界にその脅威を知らしめるようになり、アメリカと1対1で対立までするようになってきています。このような状況は、冷戦時代のアメリカとソ連が対立していた時と酷似しています。お父様は1985年にソ連の崩壊を宣布するようカプラン博士に指示されました。その後、ソ連は70年を越えた時から運勢が無くなり1991年には、共産主義を捨てて民主主義国家になりました。お父様のみ言どおりにソ連は崩壊しました。ちょうど2018年9月9日は北朝鮮建国70周年を迎えます。絶頂期を迎えている北朝鮮ですがこの1年が重要なのです。

お父様は第三次世界大戦は宗教思想の戦いになると言われました。これは一歩間違えれば武力を行使した第三次世界大戦になってしまうこともあり得ますが、私たちアベル圏が一つになれば武力行使は防げるのです。

一歩間違えれば核爆弾による犠牲を伴う状況下の中で、真のお母様は世界の要人を集めて天地鮮鶴苑起工式を行いました。私たちアベル圏の精誠が如何に重要であるかを知ることが出来るのです。

ですから新たに神の御国を建設するための2018年8月27日、聖和6周年までの1年間の歩みはとても重要になります。私たちがこの1年間に必死に精誠を尽くし実践することによりたくさんの方が伝道され、先祖解怨、先祖祝福を通して霊肉界が一つになり、天の役事の中で北朝鮮もアメリカのような民主主義国家として生まれ変わり、韓半島が武器による統一ではなく平和的な統一に導かれるのです。もし日本と韓国に核兵器が落ちたら、東京、横須賀などの米軍基地があるところ、また韓国では、ソウル市龍山の米軍基地があるところが狙われます。

お父様は1歳にもなっていない子供を置いて北に行かれました。その当時、朝鮮半島のエルサレムと言われたところが平壤でありましたから、お父様はキリスト教と一つになり地上天国の基盤を作ろうとされました。しかし、キリスト教はお父様と一つになれず、共産党の警察にスパイとして訴えたため、お父様は捕らえられて死の極致である興南に投獄されました。

北朝鮮のキリスト教の失敗がクリスチャンの苦しみと迫害の70年間となりました。解放してあげなければなりません。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

■お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

■10月度東埼玉教区出発式

日時:10月2日(月)21:00～

場所:浦和家庭教会礼拝堂

※当日は責任者が行軍精誠を尽くされたのちに行います。

また、出発式後、教区の祝福推進委員会を行います。

■原理講義

日時:10月2日(月)11:00～

場所:浦和家庭教会礼拝堂

■ハングル講座

日時:10月3日(火)11:00～

場所:浦和家庭教会礼拝堂

今週は火曜日に行います

■東埼玉教区祝福後セミナー

日時:10月7日(土)10:30～

場所:浦和家庭教会礼拝堂

■東西埼玉運動会

日時:10月8日(日)9:30～

場所:三ツ池グラウンド

■東埼玉教区・本郷苑参拝&清平ツアー

期間:10月21日(土)～23日(月)

■今後の書写フェスティバル予定

10月15日(日) プラザウエスト多目的ルーム

11月19日(日) 市民会館おのみや

12月10日(日) プラザウエスト多目的ルーム

民主主義として解放するか、戦争によって解放するかは、アベル圏の精誠にかかっています。創世記18章24節のソドムとゴモラの話を見れば、アブラハムが天使に義人50人がいれば滅亡させないでほしいと願い、天使は50人のためにソドムとゴモラを滅ぼさないと約束しました。アブラハムはさらに45人、40人、30人、20人、10人と義人の数を減らしますが、天使は10人の為に滅ぼさないと約束しました。しかし、その町は滅んでしまいました。10人すら義人がいなかったという事です。この1年間の歩みが、ソドムとゴモラのように韓国と日本が戦争によって破壊されてしまうかどうかは、私たち祝福家庭の責任であるという認識をもって精誠を尽くすことが大切だと思います。天地鮮鶴苑を通して天国のモデルを作ろうとされるお母様と一つになって勝利していきましょう。

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう！



宗教 世界平和統一家庭連合
法人 FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

教区長：安 榮燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com
HP: <http://ucurawa.net/>



日曜礼拝式次第



説教者：安 榮燮教区長

司会者：

伴奏者：

開	会		
黙	禱	全体
※聖	歌 聖歌 39番	全体
※敬	拝	全体
※家	庭 盟 誓 6番	全体
代	表 祈 禱	
聖	歌	聖歌隊
み	言 訓 読	全体
説	教	父母の国が危ない	執礼者
		先祖への手紙奉読、祈願書奉納	
聖	歌 聖歌 2番	全体
感	謝 祈 禱	
お	知 ら せ	司会者
※祝	禱	執礼者
※全	体 祈 禱	全体
閉	会		

※起立して進行します

今週のみ言

私は共産主義の唯物史観に反対する者です。全世界的に勝共運動を展開し、共産主義国家ソ連の世界赤化戦略に立ち向かい、自由世界を守護しなければならないと、歴代のアメリカ大統領に直言してきました。私たちの運動を快く思わない共産国家は、私を亡き者にしようとテロを試みたりしましたが、私は彼らを憎んだり、敵と思ったりはしませんでした。私は共産主義の思想と理念に反対しているのであって、その人たちを憎んだのではありません。神様は共産主義者までも一つに抱きかかえることを願われる方です。

そのような意味で、冷戦時代の末期である一九九〇年四月に、ソ連のモスクワに入って行ってゴルバチョフ大統領と会い、その翌年十一月に北朝鮮の平壤を訪問して金日成主席と会ったのは、ただ単なる命がけの冒険ではありませんでした。それは天の御旨を伝えるために、私が行くべき宿命でした。「モスクワ (Moscow)」を英語で発音すれば「マスト・ゴー(行かなければならない)」と聞こえます。

私は共産主義に対して確固たる考えを持っていました。ボルシェビキ革命(一九一七年)以降六十年が経れば、徐々に滅亡の兆候が現れ、七十年を経た一九八七年には、精も根も尽き果てて倒れると確信していました。一九八五年、当時の私は米ダンベリー刑務所に収監されていましたが、面会に訪れたシカゴ大学の著名な政治学者、モートン・カプラン博士に、八月十五日になる前に「ソ連共産帝国の崩壊」を宣布するように言いました。カプラン博士は「ソ連帝国の滅亡を宣布するのですか？ どうしてそんな危険なことを……」と全く乗り気ではありませんでした。火が最後に最も華々しく燃えるように、当時は共産主義の没落を予感させる兆候が見えるどころか、かえってより勢力を広げている時だったので、気後れするのも当然でした。

もしも的外れな宣言になってしまったら、学者としての名声が一夜にして消滅してしまうのは明白でした。

「レバランド・ムーン(文師)、共産主義が没落するというあなたの話は信じます。しかし、まだ時ではないようです。ですから、ソ連帝国の『滅亡』よりは『滅亡する可能性がある』と遠回しに言うてはいけませんか」

博士の話に私は烈火のごとく怒りました。人がいくら気後れしても、確信があるときは、勇気を出して、死力を尽くして闘わなければならないと思ったのです。

「カプラン博士、それはどういうことですか。ソ連帝国の滅亡を宣言するのは、そのくらいはっきりとした意味があるからです。あなたが共産主義の終焉を宣言する日、共産主義はまさにその時から力を失うようになるのに、なぜ躊躇するのですか」

結局、カプラン博士は、ジュネーブで開かれた世界平和教授アカデミーの国際会議で「ソ連共産帝国の崩壊」を宣言しました。誰も考えつかないことでした。その頃、中立国であるスイスのジュネーブは、ソ連の国家保安委員会(KGB)が用意周到に配置した数万人のKGB要員が、世界を駆け巡って情報収集しながらテロを企てる所でした。その上、会議が開かれたインターコンチネンタル・ホテルはソ連大使館の向かいにあったので、カプラン博士が抱いた恐怖感は十分に理解できます。

しかし、数年後、博士はいち早くソ連崩壊を予測した学者として大きな名声を手に入れました。

～ 平和を愛する世界人として P252 ～